

学生チャレンジプロジェクト地域連携・社会貢献活動報告書

プロジェクト名: 学生による空き空間の活用を通じたプレイスメイキング

ー 全国まちづくり会議の開催支援 ー

活動報告

本活動は、2024年10月12日に開催された「全国まちづくり会議2024 in ナゴヤ」の地域交流会の開催支援である。名古屋市、円頓寺商店街と連携し、商店街活性化に向けたまちづくりのレクチャーを商店街現地で実施するとともに、賑わいづくりの必要性や緊急時対応の検証を目的として企画した。当日は、円頓寺商店街のアーケードの下、道路中心にテーブルを設置し、商店街の複数の店舗と連携したオープンバル形式で開催した。

まず初めに、実行委員会幹事でもあり、円頓寺商店街界隈でのエリアリノベーションを推進されてこられてきたナゴダナバンクの市原正人氏による紹介の元、地域交流会の企画を円頓寺商店街振興組合に提案させて頂いた。地域交流会を実現するためにハードルとなったこととして、1)道路中心部にテーブルを置いたイベントの実現、2)オープンバル方式の商店街連携型イベントの実現、3)テーブルなどのストリートファニチャーの準備の3つの課題があった。以下、これらの課題解決に向けた取り組みを紹介する。

円頓寺商店街では、七夕祭りやパリ祭、その他多くのイベントが開催されているが、これまで道路中心にテーブルを設置したイベントは手続きが困難なことから実現してこなかった。そのため、地域交流会では、是非この課題を突破して欲しいとの声が寄せられた。そのため、名古屋市ウォークブル推進室との度重なる協議、警察協議を県土木事務所との協議など、関係者協議を重ねた。その際、道路使用許可を取得するためには、緊急車両や歩行者の通行幅を確保すること、緊急時に直ぐにテーブルを移動できること、イベント開催時の交通誘導に配慮することなどが課題となった。これらの課題に対して、イベント時の道路断面図、道路平面図、簡易に撤去できるテーブルの開発、交通誘導の仕組みなどに関する協議検討を重ね、ようやく警察協議を突破した。

オープンバル方式の商店街連携イベントとして、約120人規模のイベントを想定した。食事やドリンクは商店街の様々なお店からご提供頂ける仕組みとした。Peatixによる事前登録制とし、参加費は一人4000円、2000円食事券、2000円のドリンク券で参加できる仕組みとした。商店街振興会への挨拶後、この様なオープンバル方式のイベントを実現するため、商店街全体のお店に参加可能かどうか挨拶回りをした後、参加表明を頂けた店舗に対して、追加で提供できる食事とドリンクの内容と量についてヒアリングを行った。その結果、多種多様な料理とドリンクが楽しめるイベントが実現した。

今回のイベントを実現するためのプレイスメイキング支援として、天板と脚が外れないように工夫を施し、緊急時に素早く移動できるテーブルを36脚製作した。また、オープンバルシステムとしてのイベントを実現するため、チケットデザイン、システムデザインを開発した。イベント後には、テーブルと共にこのイベントシステムを円頓寺商店街に寄付させて頂き、今後のイベントでも活用していただく予定である。

当日は120名を超える方々にご参加いただくことができた。車両が通る際には、学生スタッフの誘導により、机を端に寄せて車両の通行スペースを確保し、無事に事故もなく交流会を終えることができた。



団体紹介

近年、活用されていない空き空間を活用することを地域再生のきっかけとする取り組みが全国で展開しており、そのような場所の価値を再生する取り組みは、「プレイスメイキング」と呼ばれている。私たちは、学生による空き空間の活用をきっかけとして地域の価値を再生する「プレイスメイキング」の実現を目指す。